



# 臨床検査ニュース

平成 12 年 3 月 15 日

## 検査結果を速く知るために

朝 1 番で中央検査部に提出した緊急検査の生化学検査、いつもなら 1 時間以内で検査結果がコンピューター画面で見られるはずなのに、1 時間を過ぎても結果が画面で確認出来ない。

臨床の医師や看護婦（士）さんの誰もが経験したことがあると思います。朝 9 時すぎの緊急検査室内では機器も人もいつもと同様に大忙しです。ふと自動機器の横を見ると、測定の順番待ちの試験管がぎしりと試験管立てに並んでいます。たとえ自動機器といっても一回に測定できる検体数には限界があります。結局は緊急検体数が多く、測定されるまでの待ち時間が原因だったのです。本来、緊急検査の重要なポイントは、検体を提出後、すみやかにその結果を知ることができる点です。

そして、

緊急検査（緊急検査室）の目的は、

- ・ 緊急治療が必要な患者の病態把握と補助診断
- ・ 重症患者の治療効果のモニター
- ・ 血液ガスの測定（緊急の病態把握以外にも検体の保存面からも）などです。

時間帯（朝 8 時から 9 時にかけて）によっては、緊急検査オーダー画面で入力した生化学検体と一般検体画面で入力した生化学 検体の結果確認できるまでの時間にあまり差がありません。現在、中央検査部では検査結果の迅速報告化を進めており、朝採血した一般生化学検査については約 1 時間から遅くても午前中のうちにその結果がコンピューター画面で確認できます。中央検査部では今後も一般検査における検査結果の迅速報告化を進めていく予定でおります。

緊急検査の結果をより一層速く知ることができるためにも、一般検査をもっと有効に利用するようにご協力をお願いします。

編集：臨床病理科 検査医 腰原 公人

内線 3559 PB-323

(Clinical Test News No.1/2000.3)